

飛行船



引きつがれるバトン

12月9日に行われた生徒会改選選挙で新生徒会執行部が決まりました。3年生から2年生へバトンが渡されます。2学期から部活動で活動の中心が2年生にはなっていました。いよいよ学校生活の中でも中心になるときが迫ってきました。生徒会改選の前にそれぞれの役員が1年間の生徒会の活動報告と、活動を振り返っての感想を語っていました。「忙しかったけれど、自分を伸ばすことができた」と、どの役員も話していましたよね。より良い学校生活を目指して誠心誠意活動してきただけに、その言葉にウソはないよね。生徒会活動は執行部だけが頑張ってもどうしようありません。執行部の活動に会員であるみんながどれだけ協力するかにかかっています。より良い学校生活を送りたい。より良い小田北を創りたい。誰もがそう思っているはず。目指すは「自治」。自分たちの学校生活を自分たちで創る。自主的に創る。新生徒会執行部の活躍を期待すると同時に、会員であるみんなの協力を期待します。

新生徒会執行部

会長	室留 一輝
副会長	篠原 あかね
	西村 拓人
書記	濱名 美咲
風紀委員長	中嶋 朋也
美化委員長	英 唯明
文化委員長	永田 千凜
体育委員長	木森 航大
保健委員長	池田 萌乃
図書委員長	品川 佳希
放送委員長	高木 妃夏

ほんものはつづく、つづけるとほんものになる

世の中には「本物」と「にせもの」がある。モノにもころにも。「本物」には「本物」だけが持つ「輝き」。誰もがいつの時代でも変わることの無く「そうだ」と感じるものを放ちつづける。どんなことでも、どんなに小さなことでも続けていくことで「本物の輝き」を発するものへと変わっていく。

私たちにとって「本物」でありたいもの、「本物」になりたいもの。それは「勇気」と「自信」。たとえば、一人でクラブ活動に出る。一人で発言する。一人で掃除をする。誘われても(意志に反すれば)断る。自分だけ持っていなくても平気。つまらない人まねはしない。人をいじめたり、差別しない。……。「勇気」とはこういうこ



とをいうのではないかな。共通しているのは「一人でも……」ということ。自分の考えを言う。行動できることのすばらしさ。そのことを知って欲しい。感じて欲しい。そして、目指して欲しい。「たった一人でもやれるか」これが本物の証。みんながするから私も……。みんながもっているから……。という程度で測れるものではないのです。私たちの生活の中に「本物」は見つかるだろうか。いつかきっと「本物」になるものはあるだろうか。

「弱いから……。強がる。」「自信がないから、……。いばる。」「不安があるから……。人に頼る。」やっぱり頼るのは……。自分。自分を伸ばす。そこから始まる本物の「勇気」と「自信」です。

1年をふりかえる

15日から2学期の懇談会が始まりました。学習のこと、生活のこと、クラブのこと、各行事でのことなどなど。多くのことが話題になったことでしょうか。人は成長していきます。過去の自分を振り返ってみてもそれは明らかですよ。幼い頃の自分と今の自分とでは多くのことで成長した自分に気づけるでしょう。年を重ねるごとにできることが増え、多くの情報の中から、自分に必要なことを自分で選択し、取り入れた結果、今の自分があるのです。中学校生活の1年は今後の生き方に影響を与えるモノ・コトが多いはずですよ。この1年で出来たこと、出来なかったことをきちんと振り返っておきましょう。反省ではありませんよ。過去の自分を見つめ直して、今後のさらなる成長のためにきちんと今の自分を見つめておきましょうね。

特にこの2学期は「トライやる」に始まる自分にとって大きな行事もありましたよね。そのひとつひとつが「自分創り」に関わっています。人の成長には環境や経験が大きく関わっていることは言うまでもありません。その環境や経験を通してどうしていくかは自分にまかされているからね。人のせいにはできない「自分創り」。だからこそ、自分をしっかり見つける時間を大切にしたいな。